

料金別納郵便



金属 釋永維 展 — 青葉と胴 —

賛助出品 俳人・詩人 佐藤文香

令和7年6月6日(金)~11日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時（最終日11日は午後5時まで）

作家在廊日：釋永維／全日在廊予定、佐藤文香／6月7日(土)

若葉が色を強めるころ。ひんやりとした銅の肌は、指先の体温によって次第に温かみを帯びていきます。器の表面に施された錫の景色には、季節の気配が静かに宿っているようです。今展では、新作の花入を中心に展示いたします。サブタイトル『青葉と胴』は、開催月である六月の響きから連想される瑞々しさ、そして生命を包み込む花入の胴体が屹立するイメージから名付けました。会場には佐藤文香さんの言葉の花が添えられます。人ともとの距離を切り取り、また近づけるような鮮やかな言葉。新たな試みもお楽しみいただければ幸いです。お目にかかれることを心より願っております。

釋永維

【略歴】 昭和56年 富山県立山町 越中瀬戸焼の窯元に生まれる
高岡短期大学（現 富山大学）産業造形学科金属工芸専攻、専攻科産業造形専攻 修了
ミキモト装身具 原型制作課勤務、後に現代の名工になった秋葉邦彦に師事
金沢卯辰山工芸工房 修了
現在は立山にて制作、鍛金による器やレリーフを発表

釋永維さんの花入は、この宇宙のかなたにある惑星のようです。花を生けると、硬質な器に澆刺とした花や葉のいのちが灯り、空気が変わり、はるか遠くの世界とつながっている感覚に至ります。その気分はわたくしのものでありながら、多くの方に開かれてもいます。大切な空間をともにできることを楽しみにしています。

風薫るなり水に咲く一輪に

さとうあやか
佐藤文香

【略歴】 昭和60年 兵庫県生まれ
句集に『海藻標本』『君に目があり見開かれ』『菊は雪』『こゑは消えるのに』
編著に『天の川銀河発電所 Born after 1968 現代俳句ガイドブック』ほか
詩集『度す手』にて第29回 中原中也賞受賞

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



